

広袴便り

広袴町内会
会報第58号

発行日
令和4年10月1日

発行責任者
広袴町内会
池内 正雄

町作りの5つの柱

- 1 安心、安全な町
- 2 子どもお年寄りを大事にする町
- 3 きれいで清潔な町
- 4 伝統、文化を大切にしている町
- 5 ご近所の触れ合いのある町

調整池周辺 クリーンアップ行事

七月十七日(日)、環境厚生部主催のもと、広袴公園調整池周辺の草刈り、清掃を行いました。しかし暑いなのにつて…とにかく暑いんです(力説)!!そのうえ湿気がスゴイッツツ!!参加されたみなさんのTシャツも汗でびしょびしょ…。でもね…それがいいんです。美しいんです!!(青春)

おかげさまで清掃後の調整池周辺はキレイ&爽やかに刈り取られた草が詰め込まれたゴミ袋の高い山はなんとも壮観でありました。参加された皆様、ご協力ありがとうございました。



第2回 クリーンアップデー

また掃除の話題かよ！ はい、お掃除のお話です。

九月十一日(日)午前九時三十分より、令和四年度第二回クリーンアップデーが行われました。

九月に入ったとはいえまだまだ暑く、強い日差しが降り注ぐ中、多くの方々が各ご家庭周囲を「クリーンアップ」しておられました。

ある方はご自分の家周辺だけでなく、道路に落ちていたゴミを拾っておられました。またある方は、ご自分のお庭を丁寧に手入れされておられました。自分が暮らす町内が綺麗になる様子を見ると、気分もウキウキし、自然と笑みがこぼれます。

なかなかコロナの収束も見えず不安な日が続きますが、一日でも早くコロナ前の日常に戻り、広袴の皆さんがより地域の活性化に尽力してくださることを願ってやみません。

皆様、秋のクリーンアップデー、本当にお疲れ様でした。また来年もクリーンアップ作戦は続きます。引き続きどうぞよろしくお願ひ致します！

十月三十日(日)広袴町内会防災訓練実施

詳細は回覧板にてお知らせします。
皆様のご参加よりお待ちしております！

夏祭り・盆踊り大会中止・・・

みなさまご存じの通り、八月六日(土)に予定しておりました納涼夏祭り・盆踊り大会は、コロナ感染症(オミクロンBA・5型)急拡大の為、感染予防を優先し、開催の中止を決定致しました。

三年ぶりの夏祭りということでも多くの皆さんが既に打ち合わせや買い出しに奔走し、成功に向けて走り出していました。そんな活気あふれる雰囲気の中決定された中止…本当に残念です。

ある町内会員様からこんなお話を伺いました。

中学生になってバラバラになってしまった子供達が一年に一度会って、お互いの近況を報告しあう場となっている夏祭り。そんな大切なコミュニケーションの機会が三年も失われているのが残念でならない。と。来年こそ、広袴町内の皆様が気兼ねなくコミュニケーションを取れる楽しい夏祭りが無事開催されますように…。

広袴子ども会 会員募集中

- ◆ 学年の違うお友達とみんなで遊ぼう！
- ◆ 二小のお友達、三小のお友達、私学のお友達、一緒に体験しよう！
- ◆ お父さんお母さんも、子育ての悩みを相談しましょう！

子ども会メアド



hirohakamakodomokai@gmail.com



神明社 天王様祭礼

七月十日(日)に、境内草刈り清掃および天王様祭礼を執り行いました。雨が降ったあとの幾分涼しい中で、の清掃とはなりましたが、それでも集まった皆さんは汗でびしょびしょに…。しかしながら皆さんの頑張りで神明社境内はとても綺麗になりました！

その後、悪疫退散・病氣平穩・五穀豊穰・諸願成就を願い、祭礼が執り行われました。



お飾りの鳳凰も広袴町内のみなさんでつくられた太鼓。素敵です。



大塚さん手作りの亀。三が日に神明社境内で購入できます。ぜひ！

秋の大祭での活躍を待つお神輿。しかし今年もコロナの影響で展示のみとなります。来年こそ…！



皆さん暑い中本当にご苦労様です。おかげで綺麗になりました。



神明社 風祭

九月四日(日)神明社にて境内清掃および秋の風祭が行われました。

七月の天王祭から二か月しか経っていないのに、夏の猛暑と湿気のためか勢いよく育ってくれた雑草たち…。集まった皆さんのチカラで清掃を終え、参拝。お神酒(おみき)を頂き、秋の風祭とさせていただきます。



左から 参集殿(拝殿)、幣(へい)殿、本殿。神明社の特徴である高低差のある三社造り。



お神酒をいただき風祭終了！お疲れさまでした！

神明社 令和四年～五年 行事

令和四年

十二月三十日(金) 九時集合 大掃除

三十一日(土) 夜十時より大晦日参拝お迎え

令和五年

元旦(日) 九時集合 十時より広袴町内会役員・有志参拝

二日(月) 九時集合 新年参拝お迎え(午後三時頃終了予定)

三日(火) 九時集合 新年参拝お迎え(午後三時頃終了予定)

十四日(土) どんと焼き準備・開催

十五日(日) どんと焼き後片付け

※どんと焼きに関してはあくまでも予定です。



ハローサイクリング

〈広袴公園にハローサイクリング参入予定〉

広袴公園公用地にハローサイクリング自転車置き場を十月に設置予定です。置き場は調整池の展望橋麓になりそうです。あくまで予定ではありますが、設置された際は是非ご利用ください。

〈ハローサイクリングとは〉

登録から予約まですべてアプリで利用できるシェアサイクルサービス。ICカード登録でさらに快適に利用できること。



自転車に乗りたい場所の近くでステーションを探してアプリで予約。提携ステーションなら、乗る場所も返す場所も自由という便利なサービス。近所への外出、通勤、旅行先など、いつでもどこでも気軽に自転車を借りることが出来ます。あなたもシェアサイクリング、はじめてみませんか？



詳しくはHELLO CYCLING HPにアクセス！

〈訂正とお詫び〉

広袴便り七月号(57号)一ページ目におきまして、副会長山際哲明様のお名前を山際哲朗様と表記してしまいました。大変申し訳ございません。(広報部 茶花)

鶴連運動会 開催決定！

きたる十月二十三日(日)午前九時より(午前中終了予定)、ウォークラリーおよびウルトラクイズ鶴連運動会を開催いたします。

スタート地点は野津田公園多目的広場入口。広い野津田公園にあるウォークラリーポイントを回って、ゴール地点でくじ引きをして参加賞をゲットしましょう。ウォークラリーポイントのひとつであるばら広場では、ばらフェストも開催されており。

ゴール後にはウルトラクイズが待っています。頭も体も存分に動かして、運動の秋を体感しましょう！

作品展示会 作品募集

広袴町内会文化部主催、令和四年度作品展示会を実施いたします。我こそは！と思われた方、是非ご出展ください。皆様の力作を心よりお待ち申し上げます。またお時間の許す限り、作品展へお出かけください。芸術の秋、町内会のみなさんで刺激を与えあう素晴らしいチャンスです。出品はちよつと...と思われている方も、数々の素敵な作品に出会うことで創作意欲が抑えきれなくなるかも...

〈日時〉令和四年十一月十二日(土)午後一時〜五時
十三日(日)午前十時〜四時

〈場所〉広袴会館一階(ホール1・2)

〈作品例〉陶芸・書道・絵画・写真・パンフレット・紙細工・折り紙・押し絵・絵手紙・ちぎり絵・押し花・銅板画・木製玩具・手芸品(レース編み、刺繍など)



吉川動物病院



診療時間 / 午前 9:00 ~ 12:00
午後 3:30 ~ 6:30
日・祭日 / 休診

町田市広袴 3-3-11

☎ 735-3487



(株)光陽測器製作所

本社 / 〒195-0056 東京都町田市広袴 2-17-14
TEL 042(736)0959 FAX 042(736)0453

募集しております！

広報部では、広袴便りやホームページへのご意見・ご要望・掲載希望の記事を募集いたします。幅広い世代に楽しんでいただける広袴便りの作成に、みなさまのお力をお貸しください！

ご意見・ご要望・掲載のお申込みは、広報部(茶花/濱田)までご連絡をお願いします。



広報部長: 茶花真里花 副部長: 濱田輝
編集: 浅井新一郎 大仲亜希子 石郷岡陽子
嶋津玲司 杉下和仁 江端智一 相田健一郎 佐藤浩

〈申し込み方法〉専用の出品申込書を回覧板で回します。必要事項をご記入の上、広袴町内会館ホストに投函してください。締め切りは十月二十九日(土)午後五時です。出品申込書がお手元ない場合は、恐れ入りますが池内会長(090-4066-8205)か捧副会長(090-3085-8250)までご連絡をお願いします。ご応募、お待ちしております！

広袴おりおり

第30回

コガモの擬態



越冬のカモ類で秋一番早く飛来するのはコガモである。広袴池に突然コガモの群れが現れる様は、池周辺を散歩している人にとって楽しみな風物の一つであろう。

写真②を除く①〜⑦は広袴池での撮影で、残り全ての写真は真光寺川最下流の鶴見川合流地点での撮影である。

コガモの面白いのは、雄が飛来直後から春の旅立ちまでに徐々に姿を変えていくところである。①は換羽を終えた雄の姿



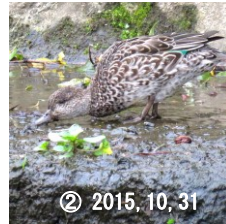
⑧ 2016, 1, 11



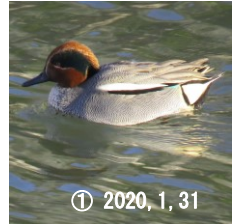
⑩



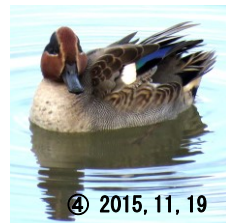
⑨



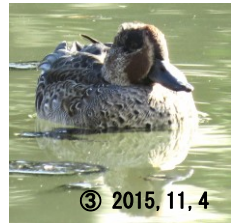
② 2015, 10, 31



① 2020, 1, 31



④ 2015, 11, 19



③ 2015, 11, 4



⑤ 2015, 11, 19



⑥ 2016, 1, 4



⑦ 2016, 1, 4

であるが、飛来当初は②の地味な雌と変わらない。その状態はエクリプスと呼ばれるカモ類の雄によく観られる特徴である。まだ十一月では③のように顔が茶と緑色への

変化の途中だし、④では顔が出来上がっていても背中では換羽していない。

⑤、⑥は群れで集まっている様子。一月頃になると⑦のようにペアが増えてきて、やがて春に繁殖地へと旅立つ。

真光寺川と鶴見川との合流地点(⑧)ではコガモを含む多くの水辺の野鳥が集まるが、その分天敵への警戒が必要となる。しかし、採餌の際には首を水中に入れる弱みがあることに加え、川の流れる音は警戒の妨げになってくる。それにも関

わらず岩石がごろごろと集まった流域は、水面から届く藻が多く繁茂しているのでコガモにとって恰好の餌場なのである。

そうした事情を考慮しつつ写真⑧だけを一羽がいることに驚きと同時に納得を覚える。敢えて矢印で示さなかったが、部分拡大した⑨が⑧の中に含まれているのである。因みに⑩は首を上げた時の姿である。

鱗のような模様の背中中はちょうど波や濡れた岩石の表面と類似して保色色になっている。そして一番リスキーとなる水中に首を入れて行う採餌は、結果として背中の塊だけが水面に現れる。それは恰も岩石の一つのように見えるのである。

正に擬態である。

水中へ代わりばんこに首を入れ互いを守るコガモの夫婦 (16組 篠田泰蔵)

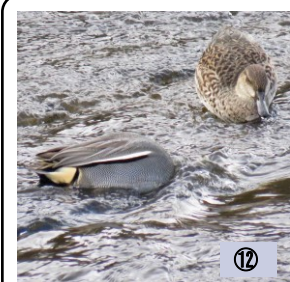


余話

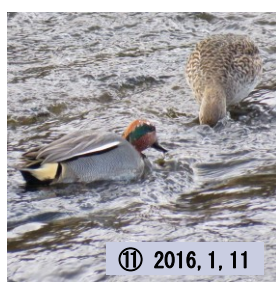
写真は流域で採

餌をしているコガモのつがいである。この二羽を撮影した写真、計十六枚を観察して驚いた。全ての写真で、雌が首を水中に入れている間(⑪)はずっと雄が顔を出しており、逆に雄が首を入れている間(⑫)は雌が顔を出し続けているのであった。

とても偶然とは思えず、警戒心の強さと、何よりつがいの絆の強さが表われていると推察された。



⑫



⑪ 2016, 1, 11